

安心・安全に  
住み続けられる  
コミュニティ形成  
の  
「知ら咲か」

# 知ら咲か



2015 MARCH No.22

(編集発行)「知らせましょ・咲かせましょ」事務局・広報(住所)宝塚市逆瀬台 1 丁目 3

URL <http://www.shirasaka8.net/>

白瀬川沿いの 8 つのマンション住民有志が、全住民の安心・安全に住み続けられるコミュニティ形成を目標にして「知らせましょ・咲かせましょ(通称“知ら咲か”）」という団体をつくりました。「知ら咲か」は「知らせましょ・咲かせましょ」の広報紙です。(事務局へはTel070-5041-4405 石田まで)



宝塚ゴルフ場入り口付近の白瀬川

## 白瀬川と共に生きる

自然を育み、そして楽しみましょう！

### ◆自然豊かなまちに住み続けたい

花や鳥、風や緑に触れ、しっかりと四季折々の自然を楽しめるまちこそ私達の財産ともいえます。

こんな自然を十倍も百倍も楽しむ為に今号では「白瀬川」に関係する情報を集めてみました。今号にない情報も皆様からお寄せいただき地域の皆さんみんなで共有していきましょう。

### ◆逆瀬川と支流の「白瀬川」

上の写真は逆瀬川に流れが合流する宝塚ゴルフ倶楽部入り口付近の白瀬川です。

逆瀬川はいうまでもなく武庫川の支流です。宝塚の南部地域は武庫川の運んだ土砂が堆積した扇状地を中心に北側には長尾山地、西側に六甲山地が連なっています。

逆瀬川は兵庫県で初めて砂防工事が行われたことから広く注目されています。多くの皆さんが逆瀬川の堰堤を目にし、年代とともに変遷している堰堤工法の種類もご存じでしょう。ゆずり葉緑地のあたりではその説明も見ることが出来ます。散歩がてらご家族やお友達との見学をお勧めします。この砂防工事の目的は武庫川に土砂が流入して河床が浅くなり起こる氾濫を防ぐ為のものでした。六甲山系は左右からの力で百万年前から隆起を始め、又、その力で多くの裂け目が生じ断層となっています。

長い間に花崗岩が上へ上へと持ち上げられながらあちこちにひびが入り岩をもろくしたようです。

堰堤とともに砂防工事としては中流での「流路」づくりがあります。

逆瀬川中流に水や土砂が流れる路を掘ったものです。野上あたりの住宅地はこの工事で降に登場しました。しかし、白瀬川の流路固めは遅れていました。

### ◆昭和三十七年の白瀬川の氾濫

昭和三十七年に阪神地域を襲った大雨は各地に大きな被害を及ぼしました。この時、逆瀬川流域はしっかりと持ちこたえたのですが、支流の白瀬川に土石流が発生しました。

この時点では上流での砂防工事はしていたようですが、逆瀬川のような流路固めはできていなかったのです。人的被害はなく、その後、流路固めが行われました。

(関連記事二頁以降に続く)

### 【参考文献】

○一九九七年一月一七日・宝塚市教育委員会発行「1・17 忘れへんで防災教育小学生編」

○二〇〇九年二月二日発行宝塚市文化振興財団編「宝塚まちかど学」

# 白瀬川両岸地域の生い立ちをたどる



## ◆白瀬川氾濫後の河川工事

昭和三十七年の阪神地域の大雨による氾濫を契機として白瀬川の砂防や流路づくり、流路固めが進みました。それに伴いこの地域の今の姿が生まれてくることになりました。

昭和三十八年三月に白瀬堰堤が今のアヴェルデの東端にあたる場所にできました。さらに上流では三十九年三月に喺鶴羽堰堤、四十三年十二月に白瀬第二号堰堤が完成しています。それとともに白瀬川の流路固めが行われましました。

この工事以降に現在のマンション群が登場してくることになったのです。

## ◆地域内、周辺の変遷

地域内や周辺は年とともに大きく変わってきました。

- 昭和三十八年 県立宝塚高校開校
- 昭和四十六年 宝塚西山住宅竣工
- 昭和四十九年 逆瀬川マンション竣工
- 昭和四十九年～五十一年 逆瀬川グリーンハイツ竣工
- 昭和五十一年 宝塚逆瀬台住宅竣工
- 昭和五十一年 逆瀬台小学校開校

昭和五十一年 県立宝塚西高校開校

昭和五十四年 阪急逆瀬台マンション竣工

ン竣工

昭和五十五年 逆瀬川パークマンション竣工

ン竣工

昭和五十六年 シャンティ逆瀬川竣工

竣工

昭和六十一年～平成元年

阪急逆瀬台アヴェルデ竣工

白瀬川両岸での集合住宅の建設は約十五年、このように急速に進み、さらに年月を経て自然と共生する豊かな住環境を形成することとなりました。



## ◆ミヤマアカネの棲む川

これまでにも何度か掲載しましたが、白瀬川の流路整備後は住民の方々の努力で豊かな自然が育まれている川となりました。

兵庫県立人と自然の博物館のミヤマアカネについて記されたリーフレットにもこの川が紹介されています。

その中で「とても良好な水環境である。両岸には土砂が堆積しており、水辺の植物も多く生えてい。ツルヨシの根が土砂の流失を防いだり、水生生物の住みかになつているようだ。ゲンジボタルも市街地では逆瀬川の次に多い川。ミヤマアカネをはじめいろんなトンボがいて、川淵からも川原に降りても観察しやすく、水生生物も探しやすい。」とあります。

このように、私達が何気なく通りすがりにいる川の中にも、いろいろと人間生活を癒してくれる大切な自然がたくさんあるようです。いつまでもともに暮らしていきたいと思えます。

# 白瀬川と周辺の様子や豆知識



## ファミリーマートの ウッドデッキ

白瀬川の自然と触れる場所として設けられました。  
逆瀬川との合流点からほど近い場所です。



## 逆瀬川マンション対岸から上流を見る

このあたりの白瀬川左岸はやや高い斜面で松などが生えています。

## 白瀬川中流

このあたりには色々な植物が生え多くの昆虫や魚を見ることができます。



## 深谷（ふかたに）ダム

宝塚市の上水用ダム。昭和 47 年完成。当地域では甲山の手前に見える。



## ゆずり葉緑地公園

逆瀬川砂防事業の関連事業として平成 2 年に完成。3.2 ㍊。

## 白瀬川

行者山の北側から流れ下りる。白色の風化花崗岩の地形を流れる川の意味かも？

## 六甲山グリーンベルト事業

六甲山周辺の宅地開発が進んだことから、土砂災害防止の為、行っている。

## 行者山

標高 415m。六甲山縦走路から南にのびる尾根にある。山岳宗教の印が多い。

## 千石ズリ

明治年間まで逆瀬川上流は荒れ山で雨のたび、「マサ土」の禿げ山から土砂が大量に流れ出したことからこう呼ばれた。

## 逆瀬川沙漠

上流から流れ出た土砂が下流にも溢れることからこう呼ばれた。

## 岩原山

標高 573m。六甲山縦走路から少し北に入ったところにある宝塚市最高峰の山。

上流の堰堤



## ご存知でしたか「櫻守の会」のこと・・・

(知ら咲か事務局 石田)

私たち白瀬川ブロック住民には自然と親しめる裏庭的な存在のゆずり葉の森、同じく逆瀬台小学校区の青葉台、そしてお隣の武庫山など宝塚市内 5ヶ所で里山整備活動に 147名の会員さんが分担して毎週数回も協働作業をされています。この様子は宝塚市広報でも活動予定を紹介されています。グリーンハイツ元理事の遠藤さんも会員で活躍中です。



今後想定されている南海トラフ巨大地震の発生時での救援等でも頼もしい存在です！

2月7日(土)の櫻守の会公開講座に参加し大雨による土石流被害の対策には欠かせない意義深い活動であると感動しました。ホームページ検索で「櫻守の会・亦楽山荘」で活動状況と景観の素晴らしさをご覧ください。

亦楽(えきらく)山荘は日本の植物学者「櫻博士」と言われた笹部新太郎ゆかりの地です。

2月13日(金)には、アヴェルデ北側入り口の空き地に集合して、アヴェルデの吉岡さんと石田でゆずり葉の森整備活動(会員19名・前掲遠藤さん参加)を見学しました。

男性18名・女性1名皆さんが作業にふさわしい服装で勢揃い、4班の作業分担・注意事項等のミーティングのあとで見学者の私達も挨拶させていただきました。

《1班》集合地の隣接地になんと紫陽花・ツツジの花壇がありました！その整備です。

花壇脇には数百坪の整備空地があり、質問しましたら地元の人にゲートボールでもとの思いで整地されたそうです。(バーベキューをしたら楽しいかも！)

《2班》枯れ木伐採：白瀬川ブロック秋の餅つき大会に使用の薪でした。(感謝感激)

《3班》山道の段差補修：散策の安全は会員皆様によるボランティアのお蔭でした。

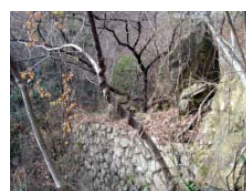
私達は各班の作業を見学させていただきました。

その後、独自に土石流防止堤の見学(写真)

堤の内外確認では、建設当初のまま内側も土石の堆積は少なく安心状態でした。

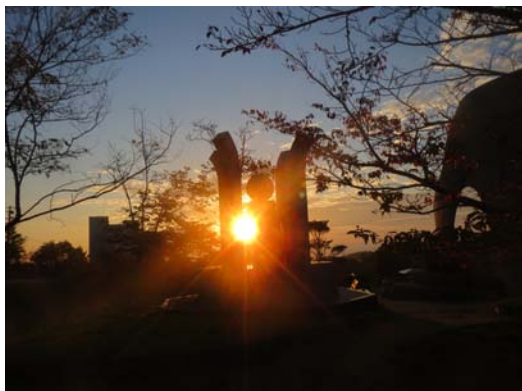
2月15日には、アヴェルデの吉岡さんにご案内いただき白瀬川の源流を散策しました。

種々の土石流防止堤を10数箇所確認しました。頑丈な堤で幾重にも守られていると心強くなりました。約1時間半の行程でしたが久しぶりに山登りの気分を楽しみつつエデンの園近くに抜け、逆瀬川の上流から宝塚ゴルフへの道を歩きましたが、途中のアヴェルデ西側にある公園ドーム壁画写真で明治38年からの砂防工事は昭和13年に起った豪雨土石流による被害を少なくしたとの確認もできました。





す て な  
き 近  
ご 所 さん



「お早う！」「今日は！」  
「有り難うございます」  
「じゃあ、明日」など気軽  
に挨拶のできる人。顔  
見知りになればどなたも  
が素敵なお近所さん・・・  
今日はどなたと一緒に  
なるか楽しい毎日です。



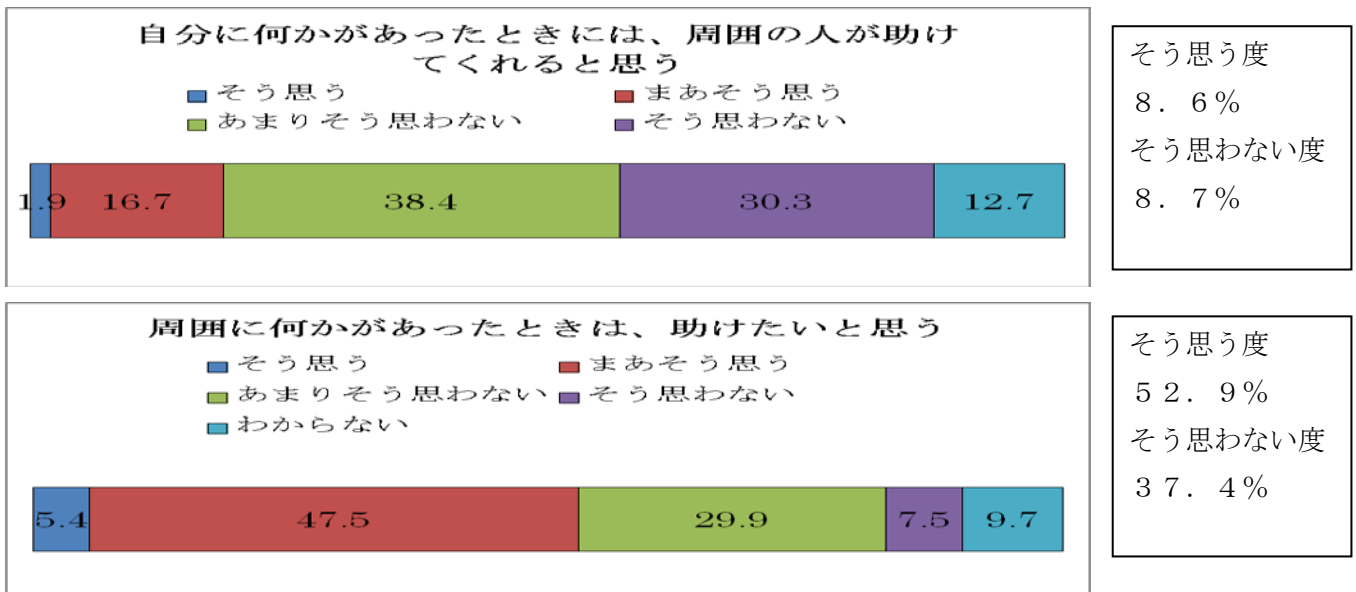
# できるの？安心・安全に住み続けられるコミュニティ形成（3）

## －助けて！という気持ち、「助けて！」と言えない何か－

「助け合い」の飛び交うコミュニティづくりに対して障害として、一人一人の心理があります。今回は調査データから、その現実について考えます。

### 1. 何かあった時、二人に一人が助けたいとし、自分が助けられると思うのは2割まで

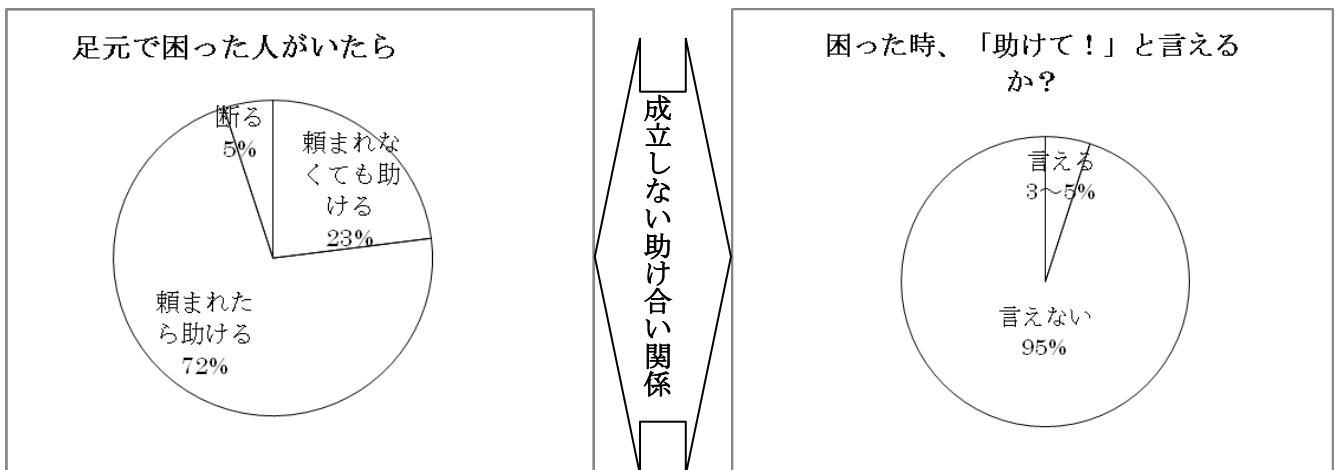
2014年11月6日付の日本生活協同組合連合会のプレスリリースで興味深い調査結果を見つけました。2014年9月26日～27日の2日間、「社会保障とくらしの助け合いに関する調査」を実施した結果からの抜粋です。



自分が助けてもらえると期待してないけれども、周囲に何かがあった時には「助けて！」というのが日本人の一般的な考えでしょうか？「助け合い」にとっては少し希望が持てるデータでしょう。

### 2. 頼まれれば助ける人も含めると95%が「助ける」が「助けて！」と言える人は5%

もう一つは住民流福祉総合研究所の木原孝久所長が講演時に会場の人に「困った時に『助けて！』と言える人は？」と訊ねた時の数字と長野県の須坂市が調査した困った人がいたらどうするかを聞いた結果も興味深いものがあります。



「頼まれなくても助ける」と「頼まれれば助ける」を合わせると実は95%の人が「助ける」と答えていますが「助けて！」と言えない人が95%、これでは「助け合い」の関係が成立しません。

次回ではこのあたりをどうすればいいかを考えてみましょう。ご意見をお寄せください。

## 【管理人徒然草】「安心」

「管理室です。雨が降ってきました、ベランダの布団を入れて下さい！」・・・にわか雨の時。怪しい空模様の時、あらかじめベランダをチェックしておきます。天候不順な時期には何回か電話することがあります。

「駐車場の車、窓ガラス開いたままですよ！」「ハッチバックドア、ロック掛かっていませんよ！」夜の巡回の時、駐車中全部の車をチェックします。春と秋、窓を開けて走ることの多い時に有りますね。最近の車は、センサーが整備されていて、半ドア、鍵の掛け忘れ、ランプ消し忘れなどには警告（警告灯）が発せられるようになっていますが、ガラス窓、ハッチバックドアまでは行き届いていないようですね。これも月に一度くらいは電話することがあります。

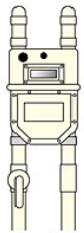
「ガスメーターの赤色灯が点滅していますが、お店の中のガス栓は大丈夫でしょうか!?」21:00頃駐車場見回り中、お店閉店後まもなくの事。早速ご主人飛んでこられ、店内チェック、すべてのガス栓OKという事でガス会社緊急連絡先に電話。「マイコンセンサーが働いて、ガスが止められている状態です。店内のすべてのガス栓を閉めてマニュアル通りの操作をしてください。それでも点滅が消えない場合は、他に障害があることとなりますから再度連絡下さい・・・」とのこと。必死に操作するも点滅消えず出動要請。21:40頃。

22:45頃 ガス会社職員1名到着、お店のご主人立会の上、店内ガス設備再確認後センサー解除。ガス点火テストし、正常に作動するかどうか測定したが正常値を示しませんとのこと。店内総ての使用量に対してメーターの容量が小さいことが考えられるとして一回り大きいものに取り代えました。その結果でも正常値が得られずガス洩れの疑い有り・・・との結論。

あらためてガス洩れを調査したところ、メーター手前のコックに臭いを感じないが微量の洩れを発見、再度ガス洩れ修理班の出動要請。0:15頃。

翌日（当日になっていますが）午後本修理完了し一件落着。

本件処理の何よりの救いは、翌朝の作業が可能となり平常どおり営業できたことだと思います。朝になって「ガスが点かない！」それからの対応だったら大変なことでした。前夜発見できたことがポイントでしたね。お陰で年中無休のお店、休業せずに済みました。



「うちの管理人さんは 何時もキチッと見回りして、チェックしてくれている！」・・・という安心（感）こそが私達に期待されている最大のものですものね。

通報することのないのが平穩無事で一番良いことに違いありませんが、いざ！・・・という時に日頃の不断のチェックが生きてくるわけで、私達への『安心』(感)を再確認していただけることとなります。

平穩な時の無駄の積み重ね（なかなか評価していただけません）が万一の糧なのです。

毎日同じ事の繰り返しではなく、日々新たな重要な仕事として、心を引き締めて巡回チェックすることの大切さを確認いたしました。

(水兵子)

## 白瀬の自然

## 「ヤマガラ」

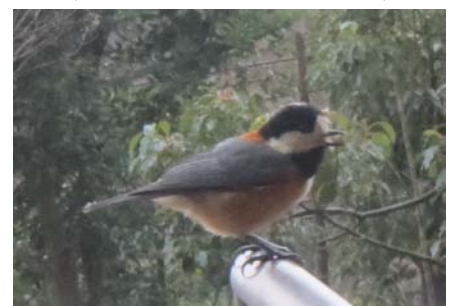
緑の豊かなこのマンション群。ベランダに小鳥が遊びに来ることも珍しくありません。

今回の訪問者は「ヤマガラ」です。

ヤマガラを漢字で書くと「山雀」、その名のとおり鳥類分類ではスズメ目シジュウカラ科シジュウカラ属に属するそうです。体長は13センチくらいでした。頭部が黒い毛、額から頬、横顔にかけて白っぽく、顎のあたりから黒い帯になっています。背中あたりや腹のあたりはきれいな黄褐色でした。

食べ物は昆虫類や木の実で平地から山地の広葉樹林に生息しています。案外、警戒心が強くなく、ベランダにゆっくりと留まっていることもあります。

ベランダにとまったヤマガラ



## 貴方ならどうされますか？

### -こんな場面に出会ったとしたら-

見知らぬ年配の人が 2 月初旬、とっても寒い日に軽装姿で問いかけてこられました  
「仁川へ行く駅はあの橋のところですか？」

逆瀬台郵便局に行く途上でした。・・・なんだか様子がおかしい・・・

すぐ先の逆瀬台マンションの入り口にご案内して管理員さんに事情をお話しして  
受付のソファをお借りして腰かけさせていただきました。

マンションの住民の方も相談に乗っていただき、警察署に電話して事情をお伝えしまし  
たところ早速に迎えに来ていただきました。

《後日談》

\* 家人が気づかないうちに行くあてもなく徘徊されている方のようなようでした。

\* 無事身元が判明してご自宅へ送り届けていただけたとのことでした

\* 思いがけず警察署から感謝される稀な経験でした。

—この町に住んでいて良かったな！と思える心の温まる出来事でした。

NHK の調べでは 2012 年時点で

年間の徘徊者 9、607 人、うち死者 351 人 行方不明 208 人 計 559 人 (5.8%)

認知症の推定 800 万人 家族へのアンケート集計 120 件、徘徊回答結果は、一人平均 6.3 回  
400 人を取材して正確に回答を把握できた 60 人 内、7 人の方は家族の方が認知症と気づいていな  
かった (11.6%)

認知症の自覚がなくても以下のサインに心当たりはありませんか？

- \* 同じことを何度も言う
- \* 物をしまい忘れてしまう、置き忘れる～同じものを何度も買ってくる
- \* 料理の段取りが悪くなる
- \* 料理の味付けが悪くなる

少しでも自覚症状がありましたら専門医の診察を受けてみたいものです。

#### 【編集後記】

初めてゆずり葉の森を探訪しました。  
県の所有地と聞いていましたが、山林  
の手入れは「櫻守の会」の会員さんによ  
るボランティアで行われていました。

雑草や枯木が遊歩道を塞ぐことなく  
急な坂道もキチンと整備されています。  
危険箇所にはロープが側面にあり、結び  
目付きで手繰り寄せながら坂道を登れ  
ます。道標も要所にあつて安全面の配慮  
も行き届いていて感心しました。

行者山を右手に見てエデンの園付近  
に下る、わずか 1 時間半の行程でし  
たが、「櫻守の会」の存在と多くの場所  
で多彩な活動されている会員さんに気づ  
かず御免なさい！そしてありがとうございます！  
感謝しています！

「徘徊」とは無縁の他人事と思ひ込ん  
でいましたが、自分を冷静に振り返りま  
すと、物忘れ、同じことを何度も言うこ  
とが時々あり身につまされる年ごろと  
なっていました。

人の云うことを素直に受け入れ、お互  
いの言動によい意味での関心を持って、  
老いの山坂・下り坂を無事乗り切りたい  
と念願した次第です。

(事務局・石田)



